

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2020年7月10日
【四半期会計期間】	第26期第3四半期（自2020年3月1日至2020年5月31日）
【会社名】	株式会社ワッツ
【英訳名】	WATTS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 平岡 史生
【本店の所在の場所】	大阪市中央区城見一丁目4番70号 住友生命OBPプラザビル
【電話番号】	06(4792)3280(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役経営企画室長 森 秀人
【最寄りの連絡場所】	大阪市中央区城見一丁目4番70号 住友生命OBPプラザビル
【電話番号】	06(4792)3280(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役経営企画室長 森 秀人
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第25期 第3四半期 連結累計期間	第26期 第3四半期 連結累計期間	第25期
会計期間	自 2018年9月1日 至 2019年5月31日	自 2019年9月1日 至 2020年5月31日	自 2018年9月1日 至 2019年8月31日
売上高 (千円)	38,623,269	39,610,390	51,399,073
経常利益 (千円)	521,852	1,208,296	656,050
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (千円)	170,736	483,406	70,574
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	73,218	443,837	28,149
純資産額 (千円)	9,968,417	10,176,308	9,867,050
総資産額 (千円)	19,930,811	23,219,661	21,557,797
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	12.72	36.08	5.26
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	51.4	45.0	47.1

回次	第25期 第3四半期 連結会計期間	第26期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年3月1日 至 2019年5月31日	自 2020年3月1日 至 2020年5月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	5.02	4.69

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 1株当たり四半期(当期)純利益の算定上の基礎となる期中平均株式数については、その計算において控除する自己株式に、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動は以下のとおりであります。

2020年4月において、上海望趣商貿有限公司の全持分を譲渡いたしました。これにより、連結子会社が1社減少しております。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大により、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があり、今後の状況を引き続き注視してまいります。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2020年2月以降急速に悪化いたしました。新型コロナウイルス感染症の日本国内外での感染拡大により、4月に発出された緊急事態宣言を受けて、テレワークの増加、商業施設や飲食店の営業自粛、学校の一斉休校、各種イベントの開催自粛等による外出抑制のムードの高まりから、個人消費は巣ごもり消費関連を除く需要が大きく落ち込みました。企業活動も新型コロナウイルス感染症の終息時期が見通せず、海外経済の失速を受けて輸出が大幅に減少したこと等により、総じて厳しい環境となりました。

このような環境のもと、100円ショップ「Watts（ワッツ）」「Watts with（ワッツ ウィズ）」「meets.（ミーツ）」「silk（シルク）」等を展開する当社グループは、収益源の多角化を図るべく、国内100円ショップ事業だけではなく、ファッション雑貨店やディスカウントショップの運営等の国内その他事業、並びに海外事業にも取り組んでおります。

国内100円ショップ事業につきましては、引き続き100円以外の価格帯（200円～1,000円）の商品導入を積極的に進めております。また、「ワッツオンラインショップ」のオープンや、当社設立25周年を記念した「RODY」とのコラボ企画を実施いたしました。

出店状況につきましては、通期計画の140店舗に対して100店舗の出店を行いました。一方で不採算店舗の整理や母店閉鎖等による退店が58店舗（うちFC2店舗）あり、当第3四半期連結累計期間末店舗数は、直営が1,208店舗（44店舗純増）、FCその他が26店舗（2店舗減）の計1,234店舗となりました。また、Wattsブランド店舗である「Watts」「Watts with」については、615店舗（95店舗純増）と全体の約半数まで拡大いたしました。

国内その他事業につきましては、心地よい生活を提案する雑貨店「Buona Vita（ブォーナ・ビータ）」は21店舗（1店舗増）となりました。LINE@を活用した販売促進活動や従業員のラッピング技術の向上等に取り組んでおります。デンマークのライフスタイル雑貨店「Sostrene Grene（ソストレーネ・グレーネ）」は、5店舗（増減なし）となっておりますが、当該事業については撤退することを決定したため、今後、店舗閉鎖等の整理を行ってまいります。生鮮スーパーとのコラボである「バリュー100」は1店舗（増減なし）、ディスカウントショップ「リアル」は6店舗（増減なし）となっております。

海外事業につきましては、東南アジアを中心とした均一ショップ「KOMONOYA（こものや）」は、タイで53店舗（4店舗増）、マレーシアで4店舗（4店舗減）、ベトナムで6店舗（3店舗減）、ペルーで20店舗（増減なし）となりました。中国での均一ショップ「小物家園（こものかえん）」は、2店舗（増減なし）となっており、自社屋号の「KOMONOYA」「小物家園」の店舗数は85店舗（3店舗純減）となりました。新型コロナウイルス感染拡大による店舗休業の影響もあり海外事業売上高は減少いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の財政状態及び経営成績は以下のとおりとなりました。

#### a. 財政状態

##### （資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は18,029百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,930百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が1,859百万円増加したことによるものであります。

固定資産は5,189百万円となり、前連結会計年度末に比べて268百万円減少いたしました。これは、差入保証金が120百万円、工具、器具及び備品が85百万円、建物及び構築物が52百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、23,219百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,661百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は11,342百万円となり、前連結会計年度末に比べ966百万円増加いたしました。これは、流動負債のその他に含まれる未払金が359百万円、電子記録債務が271百万円、支払手形及び買掛金が251百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定負債は1,701百万円となり、前連結会計年度末に比べ385百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、13,043百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,352百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は10,176百万円となり、前連結会計年度末に比べ309百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものであります。しかしながら、負債合計が増加したことに伴い、自己資本比率は45.0%(前連結会計年度末は47.1%)となりました。

b. 経営成績

100円以外の価格帯の商品導入効果が表れてきたことに加え、新型コロナウイルス感染症対策や巣ごもり需要により、衛生用品、手芸用品、製菓用品等の販売が伸びたことから、100円ショップ既存店売上高は好調に推移いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は39,610百万円(前年同四半期比2.6%増)、営業利益は1,239百万円(同123.6%増)、経常利益は1,208百万円(同131.5%増)となりました。中国の現地法人の譲渡及び(株)ヒルマー・ジャパンの事業撤退に伴う事業整理損を計上したことを主因として、親会社株主に帰属する四半期純利益は483百万円(同183.1%増)となりました。

なお、(株)ヒルマー・ジャパンに係る非支配株主に帰属する四半期純損失について、計上可能な上限額を超過したことで、当第3四半期連結累計期間において計上されておりません。

また、当社グループの事業は、100円ショップの運営及びその付随業務の単一セグメントであるため、セグメントの記載をしておりません。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,000,000
計	36,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年5月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年7月10日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	13,958,800	13,958,800	東京証券取引所市場第一部	単元株式数 100株
計	13,958,800	13,958,800	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総数 残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額(千円)	資本準備金 残高(千円)
2020年3月1日~ 2020年5月31日	-	13,958,800	-	440,297	-	876,066

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2020年2月29日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 500,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 13,453,700	134,537	-
単元未満株式	普通株式 4,300	-	-
発行済株式総数	13,958,800	-	-
総株主の議決権	-	134,537	-

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式60,000株(議決権数600個)が含まれております。

2. 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式が74株含まれております。

【自己株式等】

2020年5月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 数の割合(%)
(株)ワッツ	大阪市中央区城見1丁目4番70号 住友生命OBPプラザビル	500,800	-	500,800	3.59
計	-	500,800	-	500,800	3.59

(注) 役員向け株式交付信託が保有する当社株式60,000株は、上記自己株式には含まれておりません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年9月1日から2020年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、仰星監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	6,075,315	7,934,477
受取手形及び売掛金	2,535,234	2,570,925
商品及び製品	7,081,181	7,018,121
原材料及び貯蔵品	7,571	14,864
未収消費税等	98,166	55,679
その他	359,194	463,708
貸倒引当金	57,258	28,057
流動資産合計	16,099,405	18,029,719
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	1,846,084	1,901,954
減価償却累計額及び減損損失累計額	1,066,489	1,175,348
建物及び構築物(純額)	779,594	726,606
車両運搬具	23,480	20,045
減価償却累計額及び減損損失累計額	15,053	13,754
車両運搬具(純額)	8,427	6,291
工具、器具及び備品	3,566,030	3,608,505
減価償却累計額及び減損損失累計額	2,873,042	3,000,758
工具、器具及び備品(純額)	692,988	607,747
土地	257,800	257,800
リース資産	27,623	27,623
減価償却累計額及び減損損失累計額	14,058	18,424
リース資産(純額)	13,564	9,199
建設仮勘定	28,319	3,092
有形固定資産合計	1,780,694	1,610,737
<b>無形固定資産</b>		
その他	147,681	195,703
無形固定資産合計	147,681	195,703
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	462,938	424,769
繰延税金資産	373,215	400,040
差入保証金	2,498,717	2,377,796
その他	202,091	187,063
貸倒引当金	6,946	6,168
投資その他の資産合計	3,530,016	3,383,500
固定資産合計	5,458,392	5,189,941
資産合計	21,557,797	23,219,661



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,696,346	4,947,754
電子記録債務	3,589,730	3,861,611
1年内返済予定の長期借入金	434,366	462,216
未払法人税等	245,379	236,395
未払消費税等	110,152	332,491
事業整理損失引当金	32,163	76,697
賞与引当金	187,223	26,323
その他	1,080,003	1,398,655
流動負債合計	10,375,364	11,342,146
固定負債		
長期借入金	572,851	891,750
退職給付に係る負債	276,781	295,877
役員退職慰労引当金	24,735	26,571
役員株式給付引当金	32,721	63,307
資産除去債務	152,399	170,681
その他	255,893	253,017
固定負債合計	1,315,382	1,701,206
負債合計	11,690,746	13,043,352
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	440,297	440,297
資本剰余金	1,637,636	1,637,636
利益剰余金	8,325,881	8,674,708
自己株式	273,120	273,120
株主資本合計	10,130,694	10,479,522
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,411	9,764
為替換算調整勘定	14,443	29,478
その他の包括利益累計額合計	19,855	19,713
非支配株主持分	283,500	283,500
純資産合計	9,867,050	10,176,308
負債純資産合計	21,557,797	23,219,661

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
売上高	38,623,269	39,610,390
売上原価	24,145,831	24,538,122
売上総利益	14,477,437	15,072,267
販売費及び一般管理費	13,922,897	13,832,376
営業利益	554,540	1,239,891
営業外収益		
受取利息	6,516	6,028
持分法による投資利益	2,850	-
受取ロイヤリティー	4,092	4,554
受取補償金	7,057	24,697
その他	5,963	24,569
営業外収益合計	26,478	59,850
営業外費用		
支払利息	5,313	5,513
退店違約金	41,287	43,154
持分法による投資損失	-	28,914
為替差損	10,667	7,037
その他	1,898	6,825
営業外費用合計	59,166	91,445
経常利益	521,852	1,208,296
特別利益		
保険解約返戻金	-	1,260
固定資産売却益	-	362
受取保険金	-	25,138
特別利益合計	-	26,761
特別損失		
固定資産除却損	9,101	3,234
減損損失	148,676	104,147
事業整理損	13,499	296,732
災害による損失	-	24,528
特別損失合計	171,278	428,642
税金等調整前四半期純利益	350,574	806,415
法人税、住民税及び事業税	363,804	352,286
法人税等調整額	84,985	29,278
法人税等合計	278,819	323,008
四半期純利益	71,755	483,406
非支配株主に帰属する四半期純損失( )	98,980	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	170,736	483,406

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益	71,755	483,406
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,738	4,352
為替換算調整勘定	3,187	28,624
持分法適用会社に対する持分相当額	16,387	15,296
その他の包括利益合計	1,462	39,569
四半期包括利益	73,218	443,837
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	172,198	443,837
非支配株主に係る四半期包括利益	98,980	-

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結会計期間において、上海望趣商貿有限公司の全持分を譲渡したことにより、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形等

四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、手形交換日等をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形等が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
電子記録債務	604,189千円	450,336千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
減価償却費	319,820千円	309,139千円
のれんの償却額	3,337	4,290

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年11月27日 定時株主総会	普通株式	204,118	15	2018年8月31日	2018年11月28日	利益剰余金

(注) 2018年11月27日定時株主総会による配当金の総額には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式に対する配当金900千円が含まれております。

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2018年10月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式150,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が135,128千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が273,120千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年11月26日 定時株主総会	普通株式	134,579	10	2019年8月31日	2019年11月27日	利益剰余金

(注) 2019年11月26日定時株主総会による配当金の総額には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式に対する配当金600千円が含まれております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、100円ショップの運営及びその付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
1株当たり四半期純利益	12円72銭	36円08銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	170,736	483,406
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	170,736	483,406
普通株式の期中平均株式数(株)	13,426,431	13,397,926

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 普通株式の期中平均株式数の計算において控除する自己株式には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております(前第3四半期連結累計期間60,000株、当第3四半期連結累計期間60,000株)。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年7月9日

株式会社ワッツ  
取締役会 御中

仰星監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 高田 篤 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 俣野 朋子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ワッツの2019年9月1日から2020年8月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年9月1日から2020年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ワッツ及び連結子会社の2020年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。